

## 第4章 主要原料・食品の需給と価格変動

### 概 要

- 1 畜産食料品
- 2 水産食料品
- 3 農産食料品
- 4 製穀粉・同加工品
- 5 食用油脂・同加工品
- 6 調味料
- 7 大豆・同加工品
- 8 飲料
- 9 調理冷凍食品

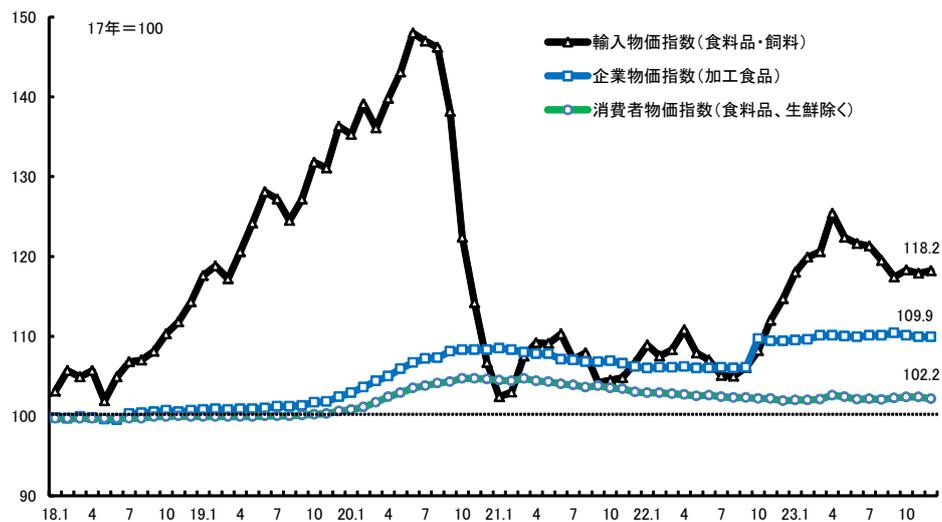
## 概要

平成 23 年の食料品・飼料の輸入物価は、対前年比で 10.7 % の上昇となった。平成 22 年後半から、円高米ドル安にもかかわらず、主要穀物の高騰が輸入物価を押し上げている。

加工食品の企業物価指数は、対前年比で 2.9 % 上昇した。平成 22 年後半から、輸入原料の高騰や猛暑による国産原料の不作、海水温度上昇等による不漁等を背景に急激に上昇した。

食料品（生鮮を除く）の消費者物価指数は、対前年比で▲ 0.2 % となった。平成 21 以降は緩やかに低下し、平成 23 年に入って横ばいで推移しており、企業物価指数と比べて乖離が大きくなっている。なお、生鮮を含む食料品は対前年比▲ 0.4 % となっている。

図4-1 **加工食品** の輸入物価、企業物価、消費者物価の推移



資料：日本銀行「輸入物価指数」、企業物価指数、総務省「消費者物価指数」

表4-1 **加工食品** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 食料品・飼料	企業物価 加工食品	消費者物価 食料品(生鮮除く)
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	107.0	100.1	100.1
19年	125.3	101.2	100.1
20年	134.6	106.3	101.6
21年	106.4	107.3	100.3
22年	108.5	106.9	99.3
23年	120.0	110.0	99.1
前年増減率 %			
18年	7.0	0.1	0.1
19年	17.1	1.1	0.0
20年	7.4	5.0	1.5
21年	▲ 20.9	0.9	▲ 1.3
22年	1.9	▲ 0.4	▲ 1.0
23年	10.7	2.9	▲ 0.2

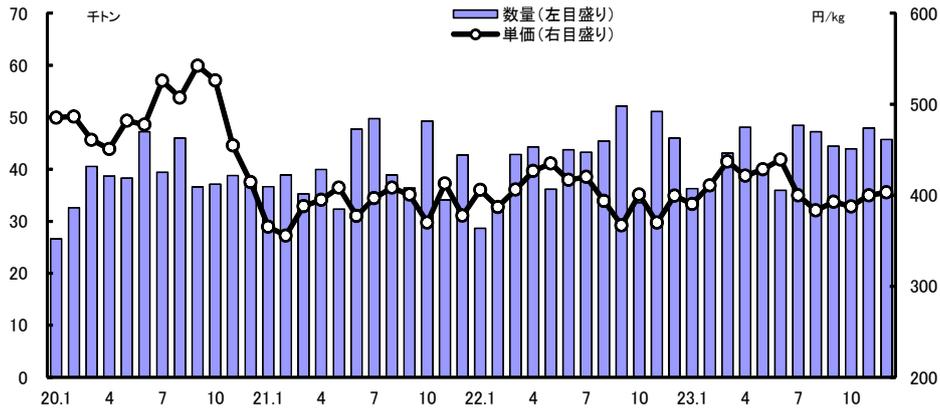
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

1 畜産食料品

牛肉の平成23年の輸入量は、対前年比3.6%（22年は3.8%増）と前年に引き続きやや増加、輸入単価（CIF価格、以下、同じ）は同1.5%とわずかに上昇。輸入単価は比較的安定。

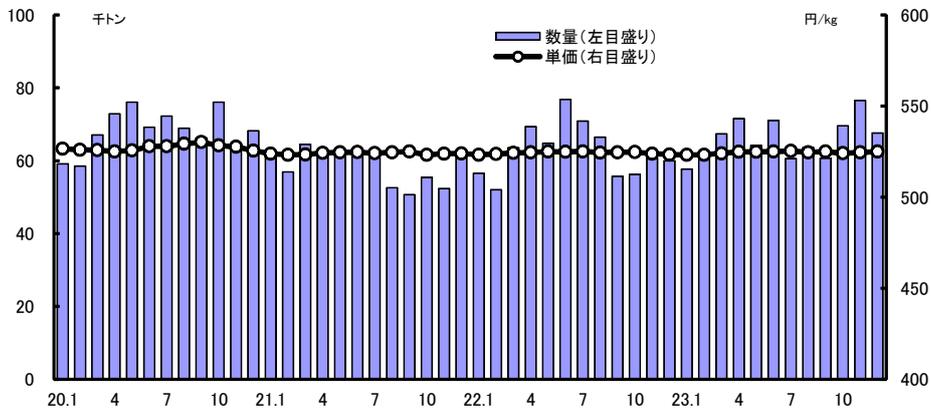
豚肉の平成23年の輸入量は、対前年比5.3%（22年は7.1%増）と前年に引き続きやや増加、輸入単価は同0.0%と前年並み。輸入単価は安定。

図4-2 **牛肉**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-3 **豚肉**の輸入量と輸入単価の推移



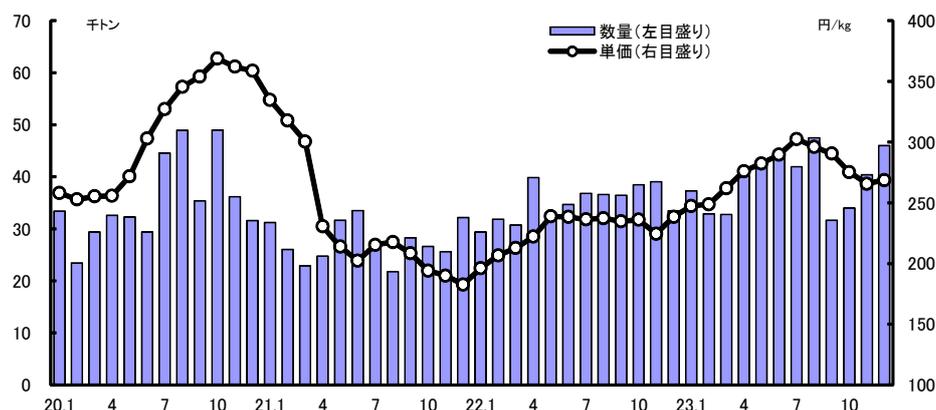
資料:財務省「貿易統計」

鶏肉の平成23年の輸入量は、対前年比12.3%（22年は26.9%増）とかなり大きく増加、輸入単価は同21.5%の大幅な上昇。輸入単価は年末に低下。

ソーセージの平成23年の輸入量は、対前年比5.4%（22年は6.4%増）とやや増加、輸入単価は同2.6%とわずかに上昇。輸入単価は年末に上昇気配。

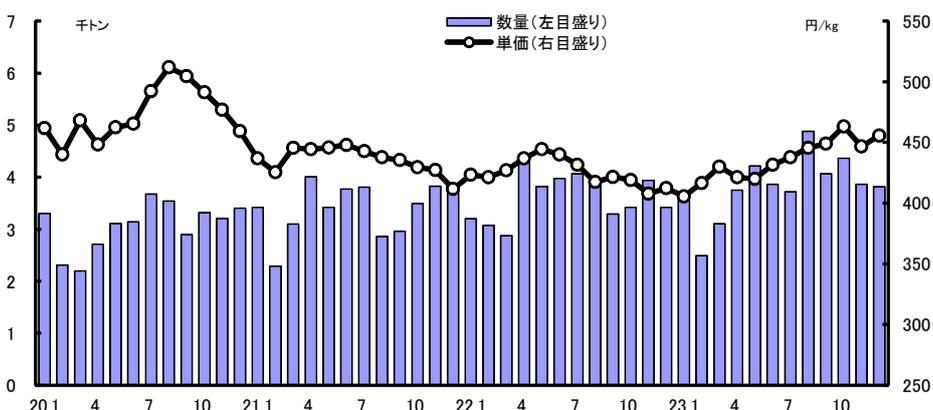
ナチュラルチーズの平成23年の輸入量は、対前年比8.2%（22年は8.2%増）とかなりの程度増加、輸入単価は同0.1%と前年並み。輸入単価は比較的安定。

図4-4 **鶏肉**の輸入量と輸入単価の推移



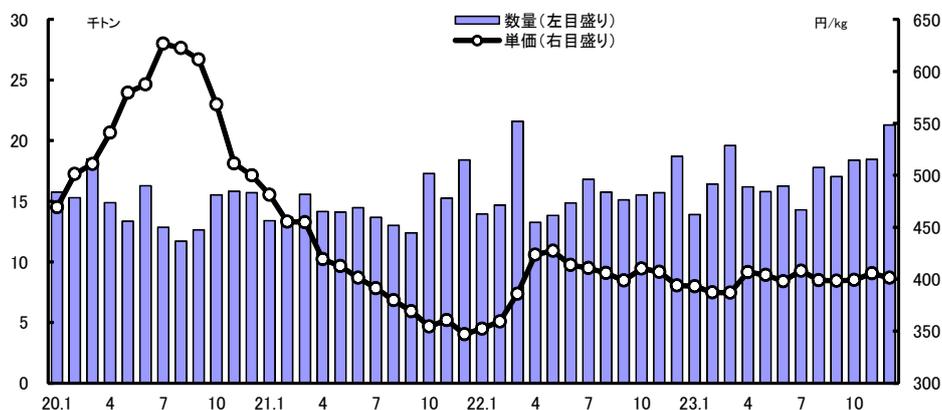
資料:財務省「貿易統計」

図4-5 **ソーセージ**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-6 **ナチュラルチーズ**の輸入量と輸入単価の推移

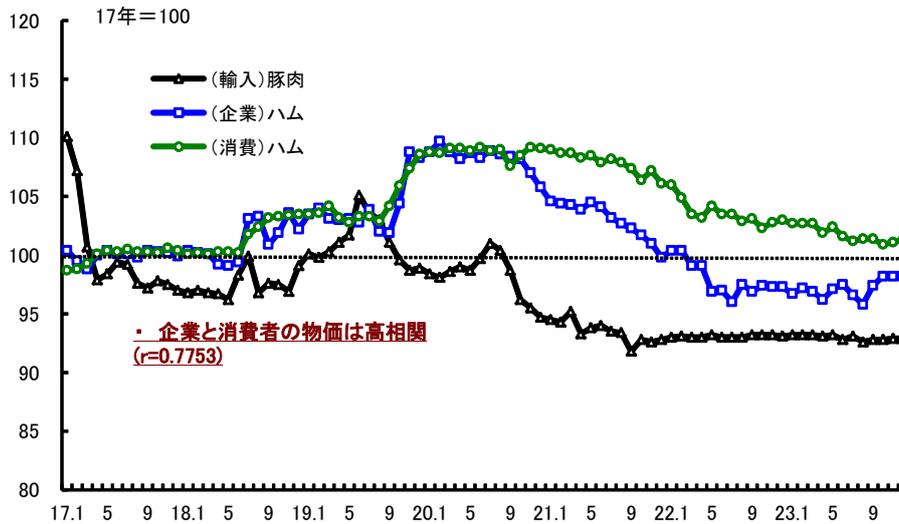


資料:財務省「貿易統計」

ハムの原料である豚肉の平成23年における輸入物価は対前年比▲0.1%と前年並みであったことから、ハムの企業物価が同▲0.8%（22年は▲4.9%）と前年並みとなったが、消費者物価は同▲1.7%とわずかに低下。月別推移についてみると、輸入物価は横ばい、企業物価は年末にやや上昇気配、消費者物価は低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-7 **ハム** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-2 **ハム** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

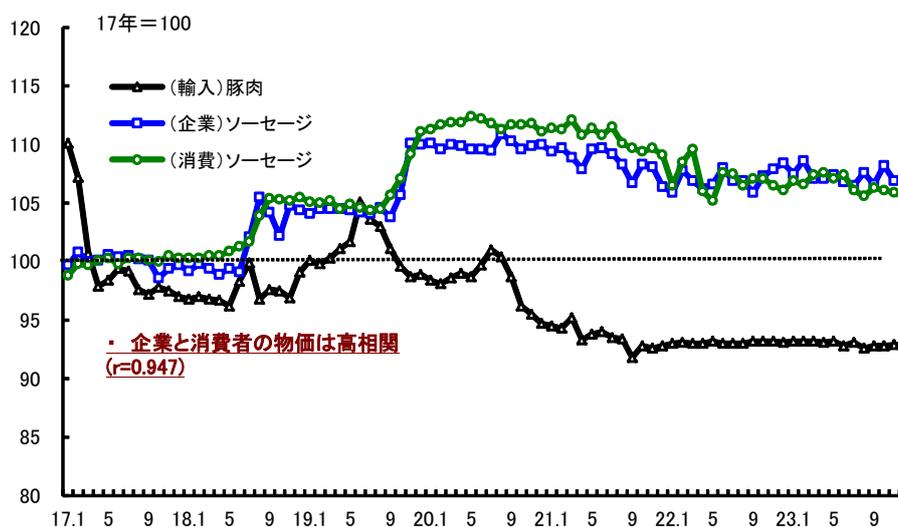
	輸入物価 豚肉	企業物価 ハム	消費者物価 ハム
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	97.5	101.1	101.6
19年	101.1	104.1	104.4
20年	98.3	108.3	108.8
21年	93.5	103.0	107.9
22年	93.1	97.9	103.6
23年	93.0	97.2	101.8
前年増減率 %			
18年	▲ 2.5	1.1	1.6
19年	3.7	2.9	2.8
20年	▲ 2.8	4.1	4.2
21年	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 0.8
22年	▲ 0.4	▲ 4.9	▲ 4.0
23年	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 1.7

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ソーセージの原料である豚肉の平成23年における輸入物価は対前年比▲0.1%と前年並み、ソーセージの企業物価も同0.2%前年並み、消費者物価も同▲0.5%（22年は▲3.3%）と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は横ばい、企業物価と消費者物価はわずかに変動を繰り返しながら概ね横ばいとなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-8 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-3 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

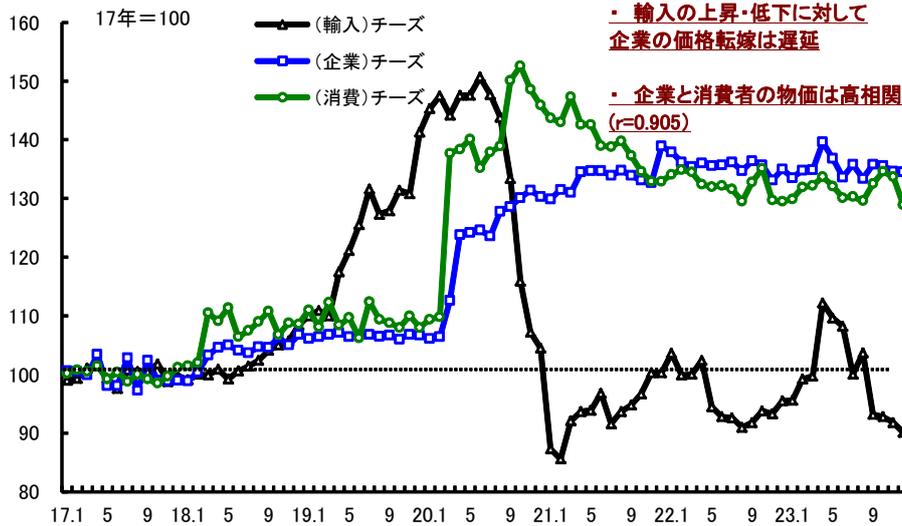
	輸入物価 豚肉	企業物価 ソーセージ	消費者物価 ソーセージ
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	97.5	101.6	102.6
19年	101.1	105.4	105.9
20年	98.3	109.9	111.7
21年	93.5	108.5	110.6
22年	93.1	107.1	107.0
23年	93.0	107.3	106.5
前年増減率 %			
18年	▲ 2.5	1.6	2.6
19年	3.7	3.7	3.2
20年	▲ 2.8	4.3	5.5
21年	▲ 4.8	▲ 1.3	▲ 1.0
22年	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 3.3
23年	▲ 0.1	0.2	▲ 0.5

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

チーズの平成23年の輸入物価は対前年比3.5%（22年は2.6%）とやや上昇したものの、企業物価は同▲0.3%と前年並み。消費者物価も同▲0.6（22年は▲5.1%）と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は年前半に高騰したものの、その後下落した。企業物価と消費者物価もわずかに上昇したものの、年後半は低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-9 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-4 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

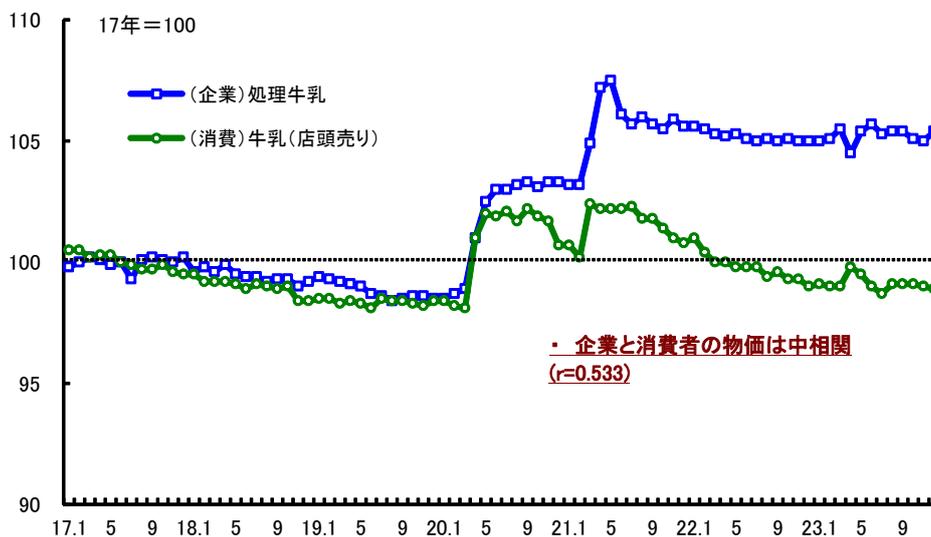
	輸入物価 チーズ	企業物価 チーズ	消費者物価 チーズ
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	102.2	104.0	107.7
19年	123.8	106.6	109.4
20年	136.3	122.5	137.1
21年	93.9	133.6	139.5
22年	96.3	135.7	132.4
23年	99.7	135.2	131.6
前年増減率 %			
18年	2.2	4.0	7.7
19年	21.1	2.5	1.6
20年	10.1	14.9	25.3
21年	▲ 31.1	9.1	1.8
22年	2.6	1.5	▲ 5.1
23年	3.5	▲ 0.3	▲ 0.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

牛乳の平成23年度の企業物価は対前年比0.0%（22年は▲0.3%）と前年並み、消費者物価も▲0.7%（22年は▲1.8%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価は横ばい、消費者物価はわずかに上昇し、その後わずかに低下。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、相関がみられる（中相関）。

図4-10 牛乳の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-5 牛乳の企業物価・消費者物価の推移

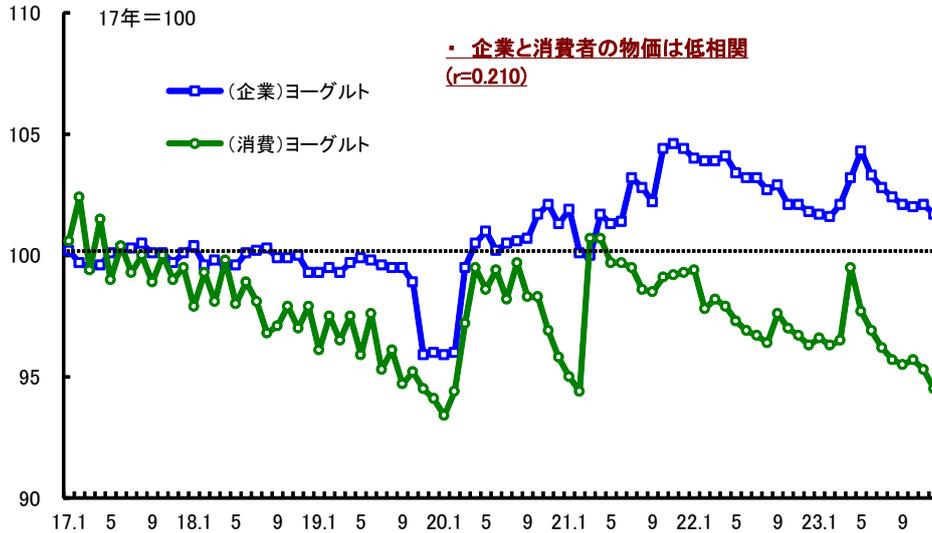
	企業物価 処理牛乳	消費者物価 牛乳
指数 17年=100		
17年	100.0	100.0
18年	99.4	99.0
19年	98.8	98.4
20年	101.8	100.8
21年	105.5	101.6
22年	105.2	99.8
23年	105.2	99.1
前年増減率 %		
18年	▲ 0.6	▲ 1.0
19年	▲ 0.6	▲ 0.6
20年	3.0	2.4
21年	3.7	0.8
22年	▲ 0.3	▲ 1.8
23年	0.0	▲ 0.7

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ヨーグルトの平成23年の企業物価は対前年比▲0.6%と前年並みで、消費者物価は▲1.0%とわずかに低下。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価とも4月に上昇したものの、その後低下で推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、相関が低い。

図4-11 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-6 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ヨーグルト	消費者物価 ヨーグルト
指数 17年=100		
17年	100.0	100.0
18年	99.9	98.1
19年	98.9	95.9
20年	100.0	97.5
21年	102.3	98.7
22年	103.1	97.4
23年	102.4	96.4
前年増減率 %		
18年	▲ 0.1	▲ 1.9
19年	▲ 1.0	▲ 2.2
20年	1.1	1.7
21年	2.3	1.2
22年	0.8	▲ 1.3
23年	▲ 0.6	▲ 1.0

資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

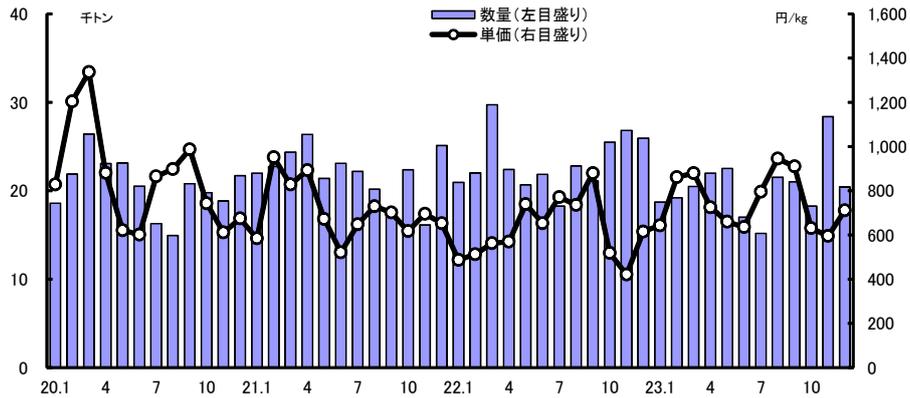
(2) 水産食料品

かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)の平成23年の輸入量は、対前年比▲12.0%(22年は5.3%増)とかなり大きく減少、輸入単価は同21.8%の大幅な上昇(22年は▲13.9%)。

たら(生・蔵・凍・すり身)の平成23年の輸入量は、対前年比23.0%(22年は9.4%増)と大幅な増加、輸入単価は同▲20.5%(22年は9.0%上昇)と大幅な下落。

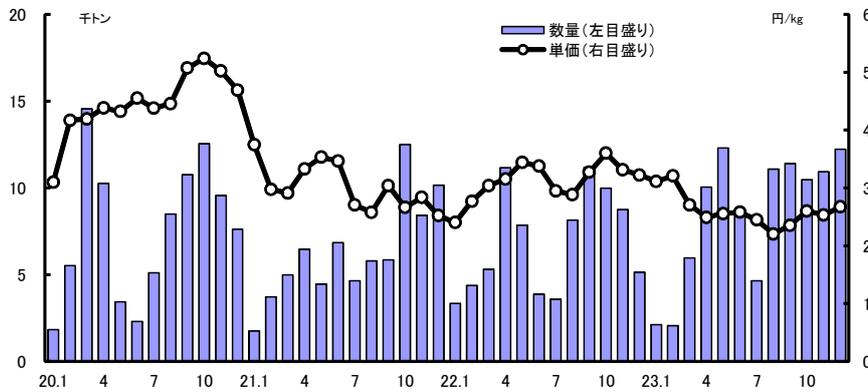
さば・さんま・あじ・いわしの平成23年の輸入量は、対前年比▲17.6%(22年は10.4%増)と大幅に減少、輸入単価は同10.7%(22年は3.0%)と上昇。

図4-12 **かつお・まぐろ類** (生・蔵・凍)の輸入量と輸入単価の推移



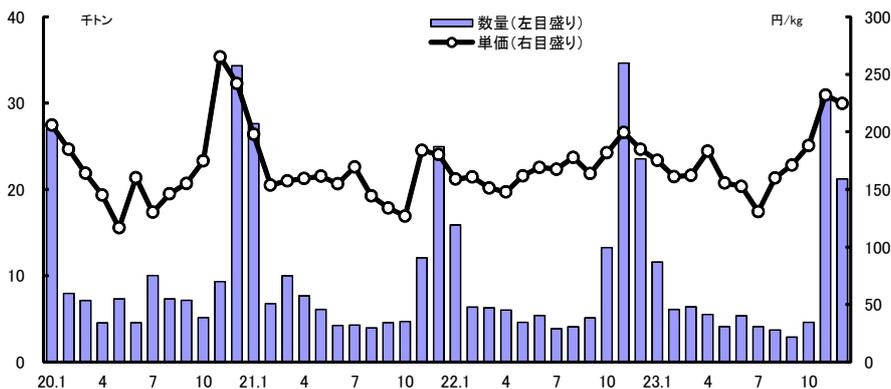
資料:財務省「貿易統計」

図4-13 **たら** (生・蔵・凍・すり身)の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-14 **さば・さんま・あじ・いわし**の輸入量と輸入単価の推移

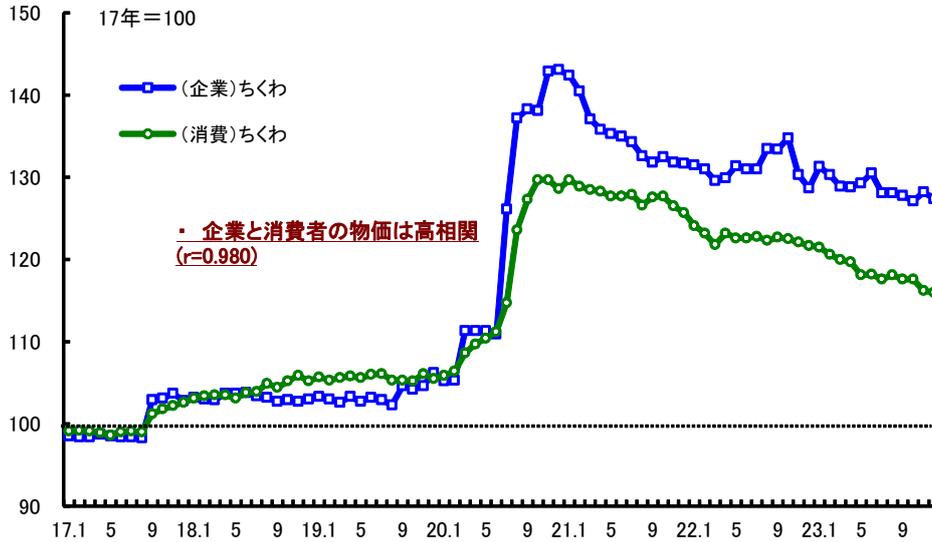


資料:財務省「貿易統計」

ちくわの平成23年の企業物価は対前年比▲1.9%（22年は▲2.8%）とわずかに低下、一方、消費者物価は▲3.4%（22年は▲4.0%）と低下。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下で推移しているが、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-15 **ちくわ** の企業物価・消費者物価の推移



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

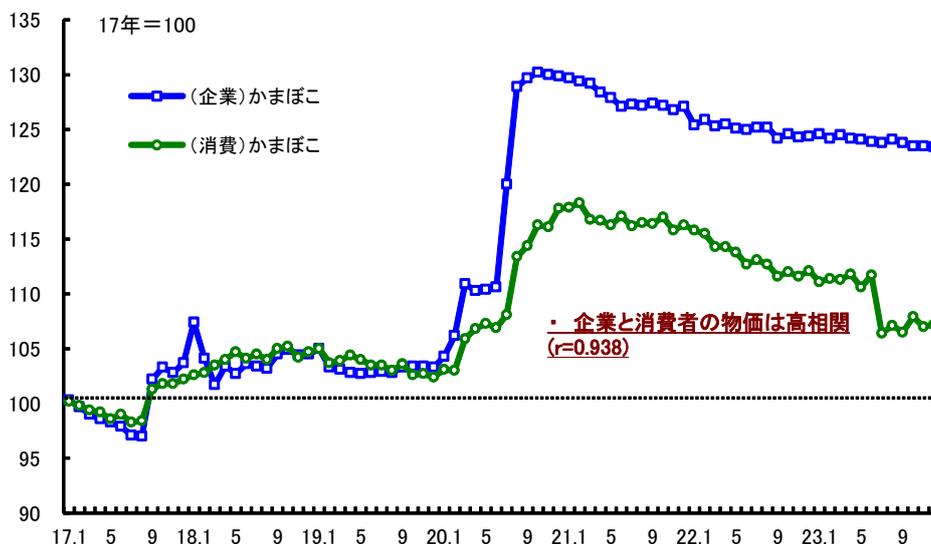
表4-7 **ちくわ** の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ちくわ	消費者物価 ちくわ
指数 17年=100		
17年	100.0	100.0
18年	103.2	104.2
19年	103.6	105.6
20年	123.4	117.2
21年	135.1	127.7
22年	131.3	122.6
23年	128.8	118.4
前年増減率 %		
18年	3.2	4.2
19年	0.4	1.3
20年	19.2	11.0
21年	9.4	9.0
22年	▲ 2.8	▲ 4.0
23年	▲ 1.9	▲ 3.4

資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

かまぼこの平成23年の企業物価は対前年比▲0.8%（22年は▲2.3%）と前年並み、一方、消費者物価は▲3.6%（22年は▲3.0%）と低下。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに低下で推移しているが、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きくなっている。なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、概ね連動しており、相関が高い。

図4-16 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-8 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移

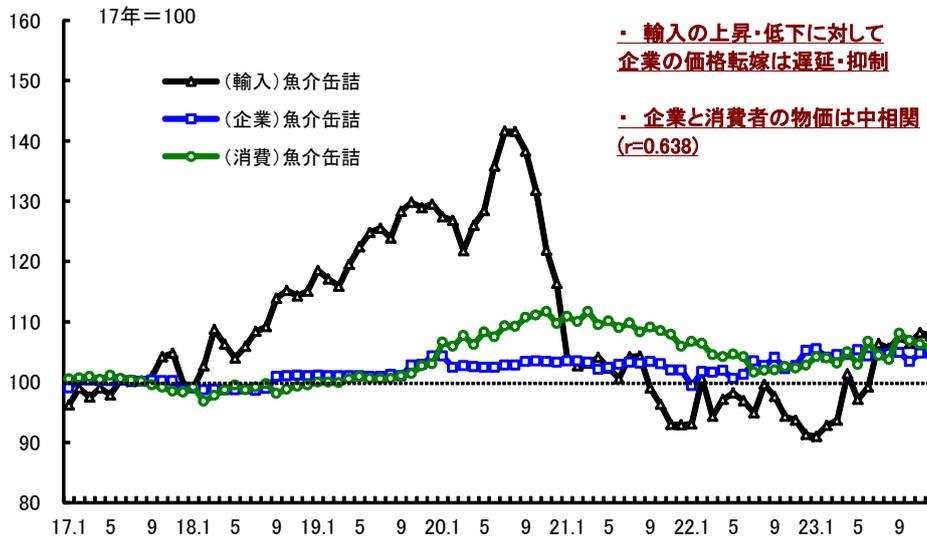
	企業物価 かまぼこ	消費者物価 かまぼこ
指数 17年=100		
17年	100.0	100.0
18年	104.0	104.1
19年	103.2	103.5
20年	118.5	109.9
21年	127.9	116.8
22年	125.0	113.3
23年	124.0	109.2
前年増減率 %		
18年	4.0	4.1
19年	▲ 0.7	▲ 0.6
20年	14.7	6.2
21年	8.0	6.3
22年	▲ 2.3	▲ 3.0
23年	▲ 0.8	▲ 3.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

魚介缶詰の平成23年度の企業物価は対前年比2.3%（22年は▲0.6%）とわずかに上昇、一方、消費者物価は1.4%（22年は▲5.0%）とわずかに上昇。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに緩やかに上昇している。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、相関がみられる。

図4-17 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料: 日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-9 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 魚介缶詰	企業物価 魚介缶詰	消費者物価 魚介缶詰
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	108.6	99.5	98.8
19年	123.7	101.6	100.9
20年	129.8	103.0	108.7
21年	100.6	102.9	109.2
22年	96.0	102.2	103.7
23年	101.4	104.6	105.1
前年増減率 %			
18年	8.6	▲ 0.5	▲ 1.2
19年	13.9	2.1	2.1
20年	5.0	1.4	7.7
21年	▲ 22.5	▲ 0.1	0.5
22年	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 5.0
23年	5.7	2.3	1.4

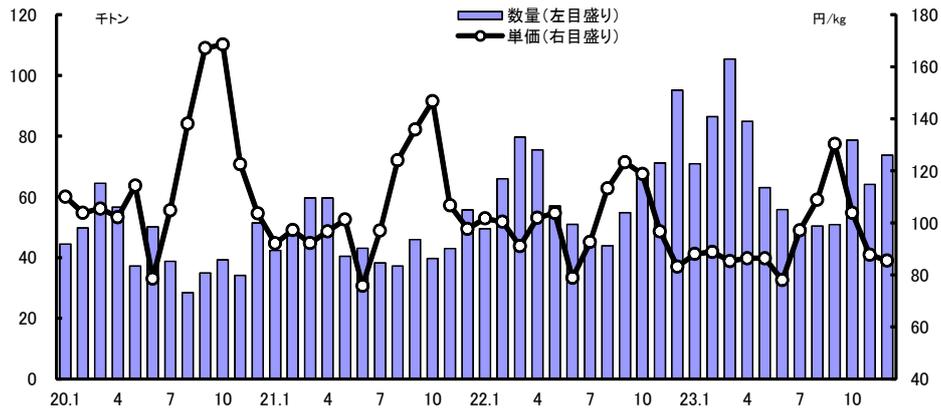
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(3) 農産加工品

**野菜（生鮮・冷蔵）**の平成23年の輸入量は、対前年比で10.0%（22年は36.6%増）とかなりの程度増加、輸入単価は同▲7.1%（22年は▲4.5%）と下落。

**野菜缶・びん詰類等**の平成23年の輸入量は、対前年比で8.5%とかなりの程度増加（22年は5.7%増）、輸入単価は同▲0.9%（22年は▲4.9%）と前年並み。

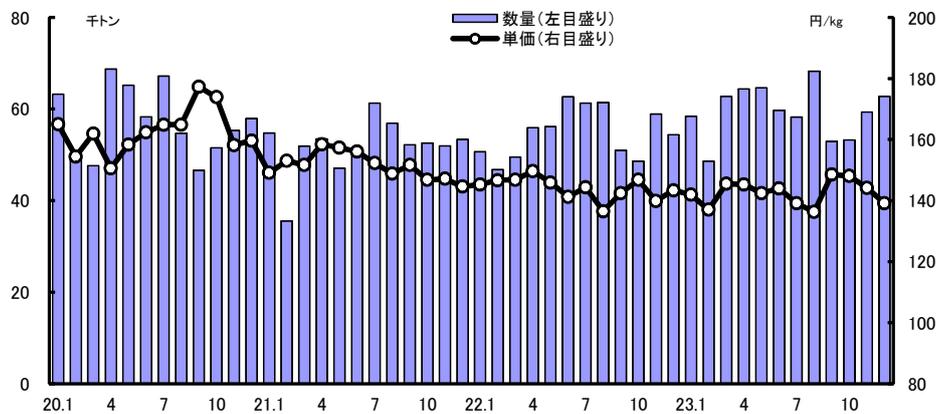
図4-18 **野菜（生鮮・冷蔵）**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-19 **野菜缶・びん詰類等**の輸入量と輸入単価の推移

図1 野菜缶・びん詰類等の輸入量と輸入単価の推移

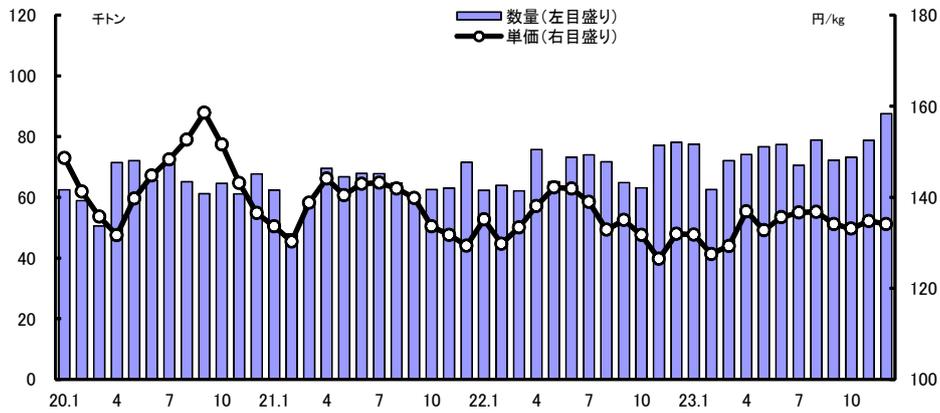


資料:財務省「貿易統計」

**冷凍野菜**の平成23年の輸入量は、対前年比で8.4%（22年は9.0%増）とかなりの程度増加、輸入単価は同▲0.8%（22年は▲2.1%）と前年並み。

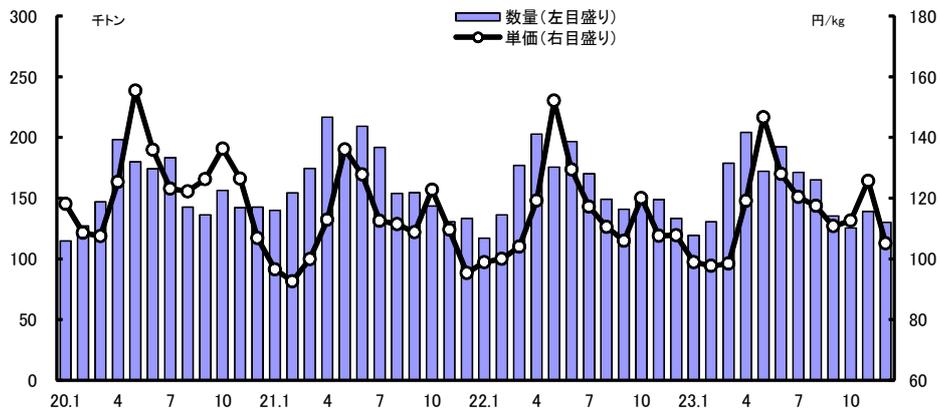
**果実（生鮮・乾燥）**の平成23年の輸入量は、対前年比で▲1.7%（22年は▲4.8%）とやや減少、輸入単価は同0.4%（22年は3.7%）と前年並み。

図4-20 **冷凍野菜**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

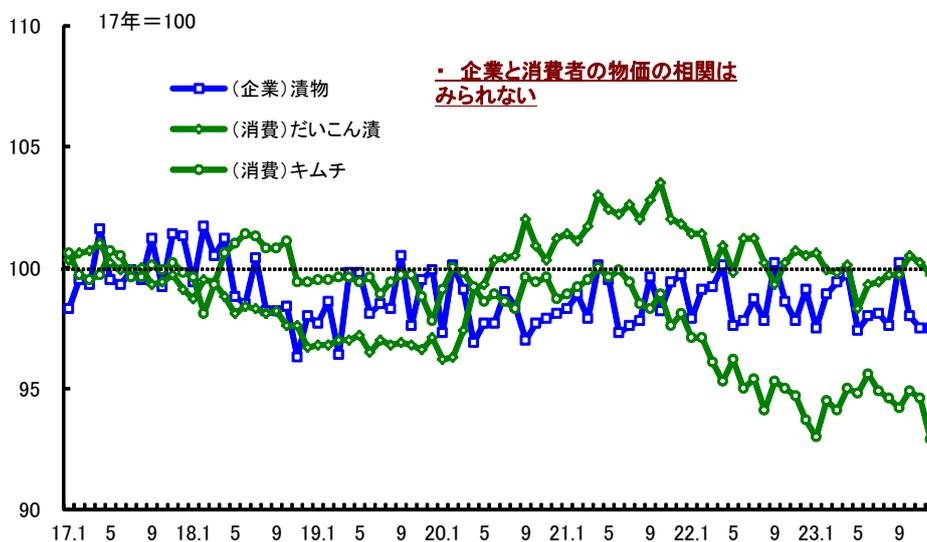
図4-21 **果実（生鮮・乾燥）**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

漬物の平成23年の企業物価は対前年比▲0.3%（22年は▲0.0%）と前年並み、一方、だいこん漬の消費者物価も同▲0.8%（22年は▲1.6%）と前年並み、はくさい漬も同▲0.2%（22年は▲2.4%）と前年並み。

図4-22 漬物の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

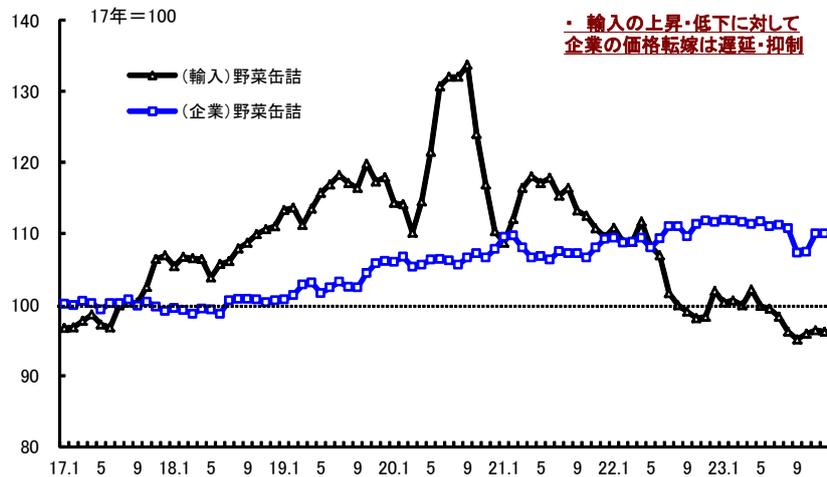
表4-10 漬物の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 漬物	消費者物価 だいこん漬	消費者物価 はくさい漬
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	99.1	98.3	98.0
19年	98.7	96.9	98.1
20年	98.1	99.5	98.5
21年	98.7	102.2	98.7
22年	98.7	100.6	96.3
23年	98.3	99.8	96.1
前年増減率 %			
18年	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 2.0
19年	▲ 0.4	▲ 1.4	0.1
20年	▲ 0.7	2.7	0.4
21年	0.6	2.7	0.2
22年	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 2.4
23年	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

野菜缶詰の平成23年の企業物価は対前年比▲5.9%（22年は▲8.3%）と低下、一方、消費者物価は同0.5%（22年は2.1%）と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は下落で推移しているが、企業物価は横ばいから低下で推移している。

図4-23 野菜缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-11 野菜缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

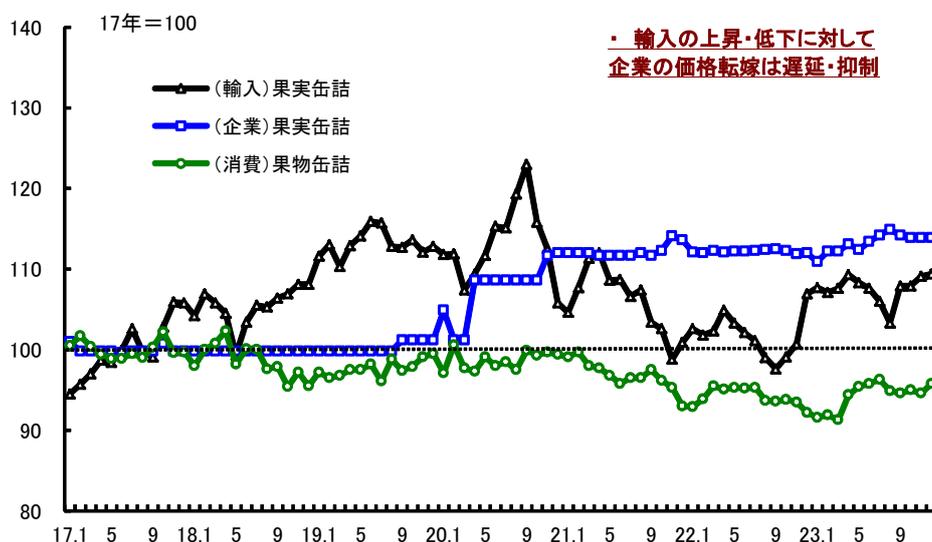
	輸入物価 野菜缶詰	企業物価 野菜缶詰
指数 17年=100		
17年	100.0	100.0
18年	107.4	99.9
19年	115.9	103.0
20年	121.2	106.4
21年	114.0	107.7
22年	104.5	110.0
23年	98.4	110.5
前年増減率 %		
18年	7.4	▲ 0.1
19年	7.9	3.1
20年	4.5	3.2
21年	▲ 5.9	1.3
22年	▲ 8.3	2.1
23年	▲ 5.9	0.5

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

果実缶詰の平成23年の企業物価は対前年比1.0%とわずかに低下、一方、消費者物価は同▲0.7%（22年は6.6%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価及び消費者物価は上昇から横ばいで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、相関がみられない。

図4-24 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-12 果実缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 果実缶詰	企業物価 果実缶詰	消費者物価 果実缶詰
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	105.4	99.8	103.7
19年	113.1	100.3	108.8
20年	113.3	107.6	102.2
21年	106.1	112.2	98.8
22年	101.8	112.2	105.3
23年	107.6	113.3	104.6
前年増減率 %			
18年	5.4	▲ 0.2	3.7
19年	7.4	0.5	4.9
20年	0.1	7.3	▲ 6.1
21年	▲ 6.4	4.3	▲ 3.3
22年	▲ 4.0	▲ 0.0	6.6
23年	5.7	1.0	▲ 0.7

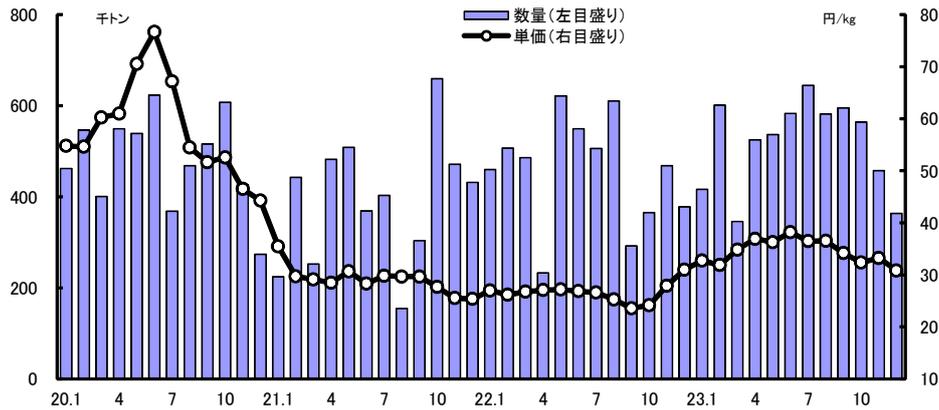
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(4) 製穀粉・同加工品

小麦の平成23年の輸入量は、対前年比13.5%（22年は16.4%増）とかなり大きく増加、輸入単価は同30.2%（22年は▲7.2%）の大幅な上昇。しかし、年後半は低下傾向。

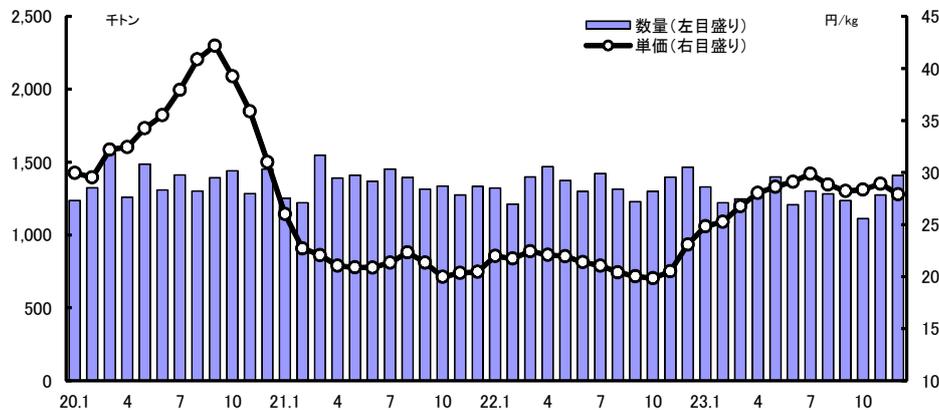
とうもろこしの平成23年の輸入量は、対前年比▲5.6%（22年は▲0.6%）とやや減少、輸入単価は同30.3%（22年は▲0.8%）と大幅な上昇。年後半はやや低下傾向。

図4-25 **小麦**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-26 **とうもろこし**の輸入量と輸入単価の推移



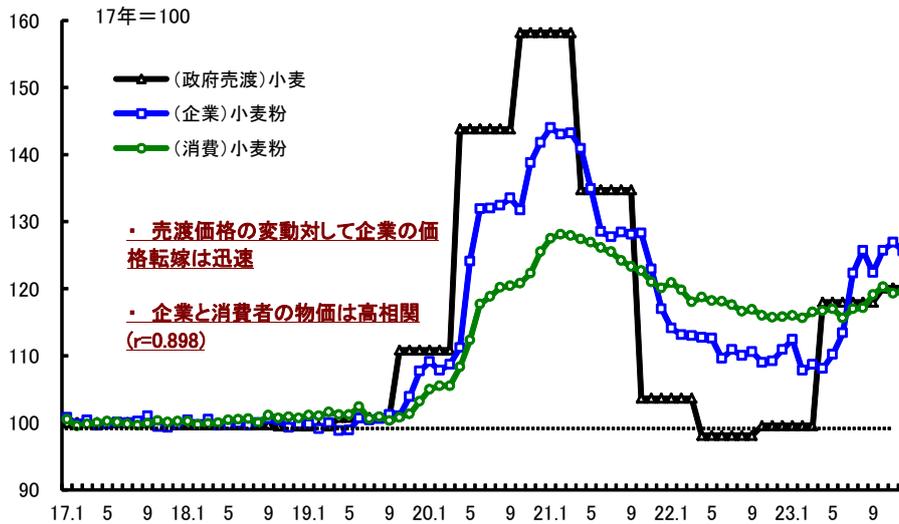
資料:財務省「貿易統計」



小麦の平成23年の政府売渡価格は、対前年比14.1%（22年は▲24.8%）と大幅に上昇したが、小麦粉の企業物価は同5.5%（22年は▲15.8%）の上昇にとどまっている。一方、小麦粉の消費者物価は同▲0.2%（22年は▲5.9%）と前年並みになっている。月別推移についてみると、企業物価の上昇に伴い、消費者物価も上昇しているが上昇幅は企業物価より小さくなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-29 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-13 小麦・小麦粉の企業物価・消費者物価の推移

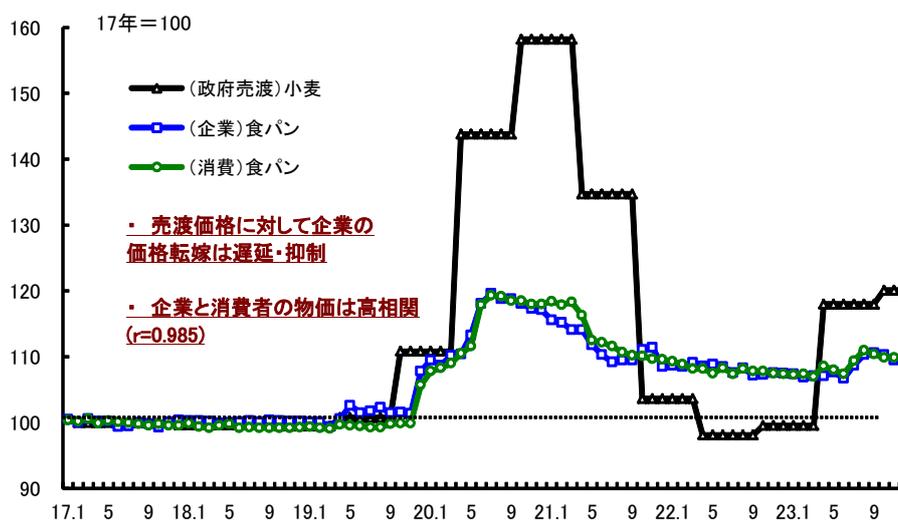
	政府売渡価格 小麦	企業物価 小麦粉	消費者物価 小麦粉
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	99.6	100.0	100.4
19年	103.0	101.0	101.3
20年	139.2	125.3	115.2
21年	132.8	132.2	125.1
22年	99.9	111.3	117.7
23年	113.9	117.4	117.5
前年増減率 %			
18年	▲ 0.4	▲ 0.0	0.4
19年	3.3	1.1	0.9
20年	35.2	24.0	13.7
21年	▲ 4.6	5.6	8.6
22年	▲ 24.8	▲ 15.8	▲ 5.9
23年	14.1	5.5	▲ 0.2

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

食パンの原料である小麦の平成23年の政府売渡価格は、対前年比14.1%（22年は▲24.8%）と大幅に上昇したが、食パンの企業物価は同0.3%（22年は▲3.2%）と前年並み。消費者物価も同0.7%（22年は▲4.5%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価は年後半に上昇し、その後低下している。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-30 食パンの企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-14 食パンの企業物価・消費者物価の推移

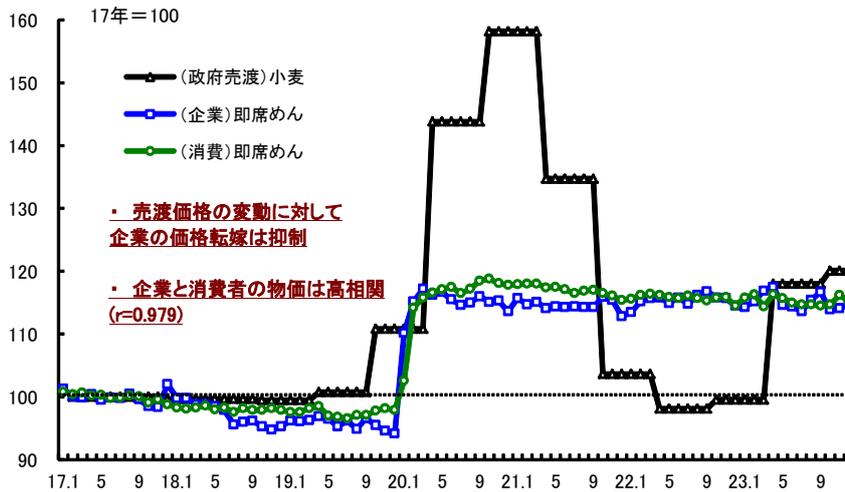
	政府売渡価格 小麦	企業物価 食パン	消費者物価 食パン
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	99.6	100.2	99.4
19年	103.0	101.7	100.0
20年	139.2	115.0	114.7
21年	132.8	111.7	113.1
22年	99.9	108.2	108.0
23年	113.9	108.5	108.8
前年増減率 %			
18年	▲ 0.4	0.2	▲ 0.6
19年	3.3	1.5	0.6
20年	35.2	13.0	14.7
21年	▲ 4.6	▲ 2.9	▲ 1.4
22年	▲ 24.8	▲ 3.2	▲ 4.5
23年	14.1	0.3	0.7

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

即席麵の原料である小麦の平成23年の政府売渡価格は、対前年比14.1%（22年は▲24.8%）と大幅に上昇したが、即席麵の企業物価は同▲0.2%（22年は0.7%）と前年並み、消費者物価は同▲0.4%（22年は▲1.0%）と前年並み。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価は概ね横ばいとなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、連動しており、相関が高い。

図4-31 即席麵の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-15 即席麵の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

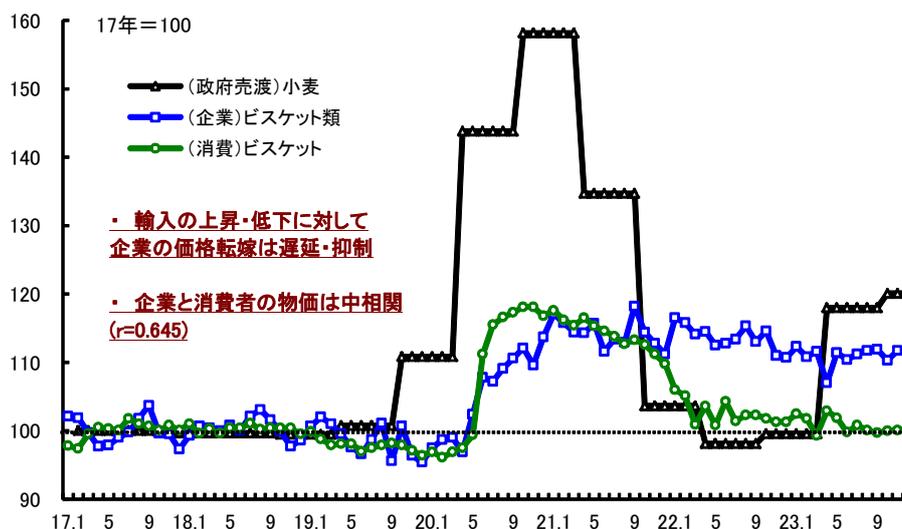
	政府売渡価格 小麦	企業物価 即席めん	消費者物価 即席めん
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	99.6	97.2	98.1
19年	103.0	95.8	97.5
20年	139.2	115.1	115.9
21年	132.8	114.6	117.0
22年	99.9	115.4	115.8
23年	113.9	115.1	115.3
前年増減率 %			
18年	▲ 0.4	▲ 2.8	▲ 1.9
19年	3.3	▲ 1.5	▲ 0.6
20年	35.2	20.1	18.9
21年	▲ 4.6	▲ 0.4	0.9
22年	▲ 24.8	0.7	▲ 1.0
23年	14.1	▲ 0.2	▲ 0.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ビスケットの原料である小麦の平成23年の政府売渡価格は、対前年比14.1%（22年は▲24.8%）と大幅に上昇したが、ビスケットの企業物価は同▲2.4%（22年は▲0.6%）と低下、消費者物価は同▲1.8%（22年は▲10.1%）と低下。月別推移についてみると、企業物価は緩やかな上昇傾向、消費者物価は緩やかな低下傾向となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成17年以降、相関があるものの、平成23年は乖離がみられる。

図4-32 **ビスケット**の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-16 **ビスケット**の企業物価・消費者物価の推移

	政府売渡価格 小麦	企業物価 ビスケット類	消費者物価 ビスケット
指数 17年=100			
17年	100.0	100.0	100.0
18年	99.6	100.4	100.3
19年	103.0	98.8	97.9
20年	139.2	105.4	108.4
21年	132.8	114.3	114.1
22年	99.9	113.7	102.6
23年	113.9	111.0	100.8
前年増減率 %			
18年	▲ 0.4	0.4	0.3
19年	3.3	▲ 1.6	▲ 2.4
20年	35.2	6.7	10.7
21年	▲ 4.6	8.5	5.3
22年	▲ 24.8	▲ 0.6	▲ 10.1
23年	14.1	▲ 2.4	▲ 1.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」